

電極抵抗計 MaP811

交流ブリッジ方式で、電極に損傷を与えません。

連続的に測定ができるため、経時変化も観察できます。

デジタル表示のため計測値が見やすく簡便な計測ができます。

電源には単Ⅲ乾電池を使用し、小型軽量なので可搬性に優れ経済的です。

電極接続部は2φピンチップ受と、タッチプルーフ型 DIN コネクタ(1.5φ,1φ)対応です。



上面 抵抗値表示部



側面 電極接続部と電源スイッチ

3種類の電極コードの接続に対応

計測ブリッジ周波数	30(Hz) 固定
抵抗測定レンジ	0~199.9(KΩ) (誤差1%以内)
測定電流	定電流10(μA) (最大印加電圧: 2(V))
電極接続用コネクタ	タッチプルーフ機構コネクタ対応 1.5φDINコネクタ用、1φDINコネクタ用 2φピンコネクタ用(♀) 各2個ずつ (並列接続のため併用可能)
ドリフト対策	ドリフト防止回路内臓
抵抗値表示	デジタル表示 (有効4桁、小数点以下1桁)
電源	アルカリ乾電池 or リチャージャブル電池 単Ⅲ×4本 (12時間以上) LOWバッテリー時告知表示機能付 (“BAT“の表示で電池交換)
重量	本体のみ 200(g) 電池含め 約 290(g)
形	80mm(W)×125mm(D)×35mm(H) 突起部含まず

- ※ 微細な電流を流すため、同一被験者に対して長時間の連続使用は行わないで下さい。
- ※ 利用する電池は、必ず同じタイプで同じ残容量のものをご利用下さい。液漏れなど故障の原因となります。
- ※ 本製品は基礎医学研究用の電極抵抗計です。この抵抗計により生体電気現象の測定を保障するものではありません。本製品の動作原理や測定条件、測定環境をご理解の上ご利用ください。
- ※ 本製品は大まかな抵抗変化を観察するものです、精密な計測にはお勧めいたしません。
- ※ 仕様は改善のため変更することがあります
- ※ 開発・設計：MA 技研 製造・発売：ニホンサンテック株式会社

●電極抵抗計 MaP811 取扱説明書

(V.1_#160902 版)

1. 単三電池×4本を装着してください。
アルカリ電池(1.5V)やリチャージャブル電池(1.2V)の利用ができます。
但し、装着する4本の電池は、同じ電池で残容量も同じものを必ず使用してください。
2. 電源スイッチを入れてください。
最大2(V)までの印加電圧で、10(μ A)の定電流にて測定を開始します。
電源を入れるだけで連続して測定を行います。
3. 測定する電極を接続してください。
3種類の電極コード用のプラグに対応しています。
抵抗測定は、2極の合成抵抗値を測定します。
電極プラグを挿入するレセクタプル(♀)は、向かって左側と右側それぞれ短絡(接続)されています。基本的には同じタイプのプラグを接続して頂きますが、左右別のタイプのプラグでも測定可能です。
4. 測定抵抗値の表示について
0.1~199.9 (K Ω) の測定ができます。
30(Hz)の交流を印加して、電極抵抗を測定できます。
200(K Ω)以上の抵抗値の場合は、数値表示がされません。
5. 測定終了後の扱いについて
電源を切って下さい。
電極プラグは接続したままでも結構です。
長期間ご利用にならない場合は、電池を取り外してください。

※測定時に電極装着部に違和感がある場合は、測定を中止して弊社まで点検をご依頼ください。
※電池残量が少なくなると液晶パネルに“BAT”と表示されます。電池の交換をしてください。

